

Polje

[ポリエ]とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには建っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX:08396-2-2622
E-mail: akiosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP: <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

秋吉台 2年ぶりの出会いを求めて～

ゴールデンウィークも終わり、春から初夏へと移行する季節。秋吉台の草原も萌黄色から濃緑色へと日々変化してゆきます。今年は緑一色のきれいな草原が広がっています。春の花もいつの間にか姿を消して初夏ならではの花と選手交代です。その中には2年ぶりに見る花もあります。反面、極端に少なくなったものもあります。ハシナガヤマサギソウは淡い黄緑色の花が目を引きはすなのに、遊歩道沿いにも見当たりません。これから咲くであろう花たちが心配です。また以前のようにたくさん見られるようになって欲しいものです。



季節の花 ヒメジョオン3兄弟、見比べると、なるほど・・・

ヒメジョオン 日当たりの良い空き地などに多く見られるキク科の植物。生育環境によって大きささまざまな大きさに適応しています。花は目玉焼きのようでかわいいのですが、甘やかしてはいけません。大きくなったら根が張ってなかなか引き抜けなくなります。

ヘラバヒメジョオン ヒメジョオンに似た花で、生育環境に合わせた姿をしています。ヒメジョオンとの雑種もあるのではないのでしょうか。葉はヘラ型をしていて鋸歯があまりなく、全体にほっそりしている感じです。秋吉台カルストロード沿いで群生して風に吹かれて揺れているのは、大抵が本種のようなのです。

ヤナギバヒメジョオン ヒメジョオンの花を小さくより細くしたような花です。ツボミのときは淡いピンク色をして下を向いていますが、次第に上向きとなって開花します。茎も葉も細く、細い葉は茎にからまっているようです。ヒメジョオンのように環境によって大きくなったり小さくなったりせず、秋吉台カルストロード沿いで風が無くてもゆっくり揺れながら、まさに細々と可憐に咲いています。



「初夏の花の観察」 目標、ムラサキとフナバラソウ！！

観察会「初夏の花の観察」を行いました。参加者全員がそろった後、地獄台を目指して出発。例年に比べて花の種類は少ない感じです。遊歩道沿いのニガナ、ウツボグサなどを観ながら地獄台へ到着。咲いて間もないきれいなムラサキの花(ムラサキの花は白色です)を観察しました。しばらく自由に行動、観察し、みんなで記念撮影。帰路は冠山をまわり、頂上付近でフナバラソウを見つけました。チョコレート色の星型の花です。



オニユリ 結実して タネから 発芽？ 何かと自然交配？ ムカゴもできる？

エコフィールドの生垣の中に生えているオニユリのムカゴを採って植えて育てた株に花が咲き、その内の一つに果実が付きました。果実が小さい時は、どうせ枯れて落ちるだろうと思っていたところ、だんだんと大きくなりました。そしてできるはずがないと思っていたタネができました。ここまでは以前にヒガンバナの観察で同様のことがありました。ヒガンバナは播種しても発芽はしませんでした。今回のオニユリは、何と芽が出ました。細い糸のようです。タネの殻をかぶったままの芽があったので、間違いはないと思います。知人からコオニユリと交配したのではと言われましたが、近くにはそれはありません。が、タカサゴユリが・・・



イタドリ あまり大きすぎると目に入らない

去年の5月に見つけた大きなイタドリ。今まで何年も何回も通った林道なのに、この時初めて気が付きました。あまりに大きすぎて目に入らなかったのかも知れません。最初に見えたのは枯れて倒れた茎でした。そして隣には太い茎がありました。真竹のようでもありましたこれは何だろうと幾つかAIに聞いてみたところ、一つ一つの質問に、それぞれそれも有り得るというどっち付かず解答でした。やはり生育良好なイタドリなのでしょう。それにしても茎の高さが6m以上も・・・？ 後日別のところでも同様のものを見つけました。
(写真の赤い↓が茎の先端)



6月の行事

- 6月14日(日) 観察会「秋吉台のカタツムリ」
- 6月20日(土) 観察会「森の昆虫教室・カブトムシ」
- 6月27日(土) 観察会「ブルーベリーの観察」



詳しくは当館のホームページでご確認ください。

